

♡たくさんの笑顔にささえられて♡

5月のわいわい子ども食堂は 学生ボランティア大活躍！！

これまで、毎回子ども食堂へボランティア参加して下さっている中京大学現代社会学部のソン先生のゼミ生ですが、いつも力になってくれた3年生が、いに就活本番の4年生になりました。

その四年生の下の学年が今までほとんどボランティアに来ていなかったのです。

4年生はこれからのわいわい子ども食堂を心配して、「2年生にしっかり引き継ぎたい」と、5月のわいわい子ども食堂の3つの活動に多くの2年生と一緒に参加してくれました。

4年生があれこれと説明したり、リードしてくださり、初めての2年生も感触がつかめたようで、「これからも来る」との感想が寄せられました。

2年生の皆さん、今後ともよろしく願います。

そして4年生の皆さん就職活動頑張ってください！



わいわい
子ども食堂

通信





「留学生の参加で、ここには小さな国際交流も！」



2年前から交流が始まった留学生たち。みんな揃っての見学後、ボランティアしたい人がその後継続的に参加しています。一番長いのはエチオピアから来ているバラックさん。そしてその友人のミャンマーのモーさん。

そして、昨年12月からのラオスのソウクさん、カンボジアのマリナさんです。

毎月、参加してくれてとってもありがたいです。名古屋大学の研究生。



バラックさんは野菜サラダの盛り付けをひきうけてくださり、もうすっかり要領を得て、自主的に作業してくださり、みんなで「サラダチーフ」と名付けています

ちょっとお勉強タイム

政府備蓄米とは・・・いつから始まったの？というお米！

政府としては、以前から、国民の主食であるお米について、不作の時でも国民が安定的に食べられるようにしていたところですが、1993年にはお米が大凶作（だいきょうさく）となり、消費者の方々がお米を求めてスーパーに殺到（さつとう）しました。

この経験を踏まえ、いつでもお米を供給できるよう、

1995年からは、法律により、国によるお米の備蓄を制度化しました。現在は、100万トン（10年に一度の不作にも供給できる量）を備蓄しています。

農林水産省の発表では、政府備蓄米の交付について こども食堂・こども宅食への政府備蓄米の交付について次のとおり回答しています。



わいわい子ども食堂はフードバンクを通じて、4月に約600キロの備蓄米の配布を受けました。フードステーションの利用者も米目当てのようです。5月のフードステーションでは、これまで初めて予約者全員が時間内に受け取りにきました。こんなことは初めてです。

政府備蓄米の無償交付に係るQ&A
(食事食材提供団体用)

Q政府備蓄米は、何年産のお米ですか。

Aこども食堂等に交付する備蓄米は、提供可能な年産で、概ね1年間を経過していない精米になります。政府備蓄米は、国が委託管理している事業者の備蓄倉庫で、鮮度を保った状態で備蓄されています。

「上飯田」
めいほくわいわい食堂
みなみまち
福祉センター一階
7月9日(水)
17時30分～19時

「あじま」
あじまわいわい食堂
楠地区会館二階
7月12日(土)
11時30分～13時

「上飯田」
フードステーション
7月13日(日)
10時～11時

食堂開催日程

